

神奈川県鉄道輸送力増強促進会議 令和5年度 要望・回答
東日本旅客鉄道 横浜線

番号	要望事項	要望内容	回答
I 輸送力増強			
1 輸送計画の改善			
(1)	運転本数の増加、車両の増結及び運転区間の延長	① ダイヤ改正のたびに、輸送計画の改善に努めていただいているところでありますが、利用者の更なる利便性の向上と輸送力の増強及び混雑緩和のため、朝夕の通勤・通学時間帯を中心とした運転本数の増加や車両の増結等に向けた取組みを推進されますよう要望いたします。 ② 快速電車については、これまでデータイムを中心に運転本数の増加が図られていますが、普通電車の更なる混雑緩和と利用者の利便性の向上を図るため、朝夕の通勤・通学時間帯まで運転時間を拡大されるよう要望いたします。	① 今後もお客さまのご利用状況を見極めつつ判断してまいります。 ② 快速運転時間拡大については、今後も快速停車駅と通過駅それぞれのお客さまのご利用状況を見極めつつ判断してまいります。
(2)	根岸線への乗入れ本数の増加	近年、ダイヤ改正が行われるたびに、根岸線への乗入れ本数増加及び運転区間の延伸がなされたところですが、新幹線からのアクセス強化や乗換えの解消など、利用者の更なる利便性向上のため、朝夕の通勤時間帯及び夜間の乗入れ電車を更に増発するとともに、東神奈川駅からの乗入れを、桜木町駅から磯子駅まで延伸されるよう要望いたします。	2015年3月ダイヤ改正においては、かねてからのご要望等を踏まえ京浜東北根岸線のダイヤを最大限工夫し、朝ラッシュ時間帯にご利用の多い桜木町駅までの直通運転を3本増発いたしました。2016年3月ダイヤ改正にて、夕通勤時間帯に磯子駅までの1往復を拡大したほか、2018年3月ダイヤ改正において、朝通勤時間帯の桜木町行きを2本磯子行きに延伸し利便性の向上を図りました。さらに、2024年3月のダイヤ改正においては、平日5往復、土休日7往復の桜木町行直通運転を増やしております。 朝夕のラッシュ時間帯と夜間帯直通運転の増発及び区間延伸については、引き続きお客さまのご利用状況を見極めつつ検討してまいります。
II 利便性向上			
1 停車要望			
(1)	快速電車の淵野辺駅への停車	淵野辺地区については、青山学院大学相模原キャンパスや、桜美林大学プラネット淵野辺キャンパス等が立地し、駅利用者も多いことから、淵野辺駅に快速電車を停車されるよう要望いたします。	快速列車は速達性を使命としており、停車駅が増えることにより快速列車本来の目的が失われることとなります。同駅への快速列車の停車については、引き続きお客さまのご利用状況を見極めつつ検討してまいります。
番号	要望事項	要望内容	回答
2 駅施設等の整備			
(1)	新横浜駅ホーム混雑緩和及び新改札の設置	新横浜駅は、ホームから改札口に至る通路が1つであることから、通勤・通学時間帯や「日産スタジアム」等でのイベント時に駅構内が極めて混雑します。 つきましては、新型コロナウイルス感染症の位置付けが令和5年5月から「5類感染症」となったことによる駅利用者数の一定の回復を見据え、駅施設の混雑緩和と利用者の利便性向上につながる新たな改札口の設置を要望いたします。	新横浜駅においては、相鉄・東急直通線開業に伴いお客さまのご利用状況が変化しておりますが、現時点での改札口新設の計画はございません。引き続き今後のお客さまのご利用状況に応じて混雑緩和とお客さまの利便性向上について検討してまいります。
III その他			
(1)	無人改札における防犯対策や障害者等の円滑な利用	大口駅の東口は無人改札となっており、防犯対策や障害者等の円滑な利用について心配する声が挙がっています。無人改札においても、障害者等の方々を含む全ての駅の利用者が安全、円滑に駅を利用できるよう、国が策定した「駅の無人化に伴う安全・円滑な駅利用に関するガイドライン」に沿った丁寧な対応を行うよう要望いたします。	鉄道サービスは公共性の高い交通機関であり、多様なお客さまが安全、円滑に駅を利用できるよう必要な設備や体制の整備等に努めてきたところでございます。引き続き、関係者の皆様と検討してまいります。